



社会を明るくする運動の一環として行われたこの弁論大会では、市内の各中学校から選ばれた16人が出場。自分の思いや感謝の心など、日ごろ感じていることを訴えました。

- 最優秀賞
 有家中学校 2年 松島 未来さん
 「未来」
- 優秀賞
 ・西有家中学校 3年 小林礼佳さん
 「ふるさとを愛す」
 ・深江中学校 3年 岡本 綾芽さん
 「おじいちゃんの命」
 ・布津中学校 3年 本多 美月さん
 「失いかけて気づくこと」

100歳おめでとうございます ～いつまでもお元気で～



佐藤ミツヨさん（南有馬町）
 明治42年7月27日生まれ



田嶋ミシさん（北有馬町）
 明治42年7月21日生まれ

第59回 社会を明るくする運動 南島原市中学生弁論大会

～7月22日 ありえコレジヨホール～



今回のイベントは、深江町在住のアマチュア天文家 大河憲二さんを講師に招いて実施。近隣の子どもたちや住民が集まり、日食用グラスや天体望遠鏡などで、欠けゆく太陽に熱いまなざしを送りました。当日は、少し雲がかかると肉眼で確認できる場面もありました。次に日本で皆既日食が見られるのは、26年後の予定です。

日食観測会

～7月22日 深江埋蔵文化財・噴火災害資料館～



今回、東氏からいただいた水墨画は、屏風絵「南島原市木あこう」。4月にいただいた「春を待つ」に続く2点目の「ふるさと応援寄附」となりました。この作品は、第62回創造美術展の出品作品。前回の本市訪問時に口之津町のあこうの木をスケッチし、2週間をかけ制作したものです。ありがとうございました。

東西望氏「あこうの屏風絵」を寄贈

～8月7日 市長室～



赤ちゃんも、お姉ちゃんたちに興味しんしん！

「かわいいー」と、すぐに会場は、笑顔でいっぱいになりました。

生徒から眩し
 そうに見つめら
 れて、お母さん
 たちも「お母さ
 ん」としての自
 信を、より深め
 ている様子でし
 た。

赤ちゃん抱っこ体験

～7月22日、8日、9日 深江中学校～



子どもたちは大興奮！

「そっちは違うよ。こっちだよ」
 潮騒に負けない声援がこだまする、歓声の絶えない楽しい時間となりました。

これまで海開きは、各海水浴場で行われていたが、今年は昨年発足した南島原ひまわり観光協会が4力所合同で実施。各海水浴場の関係者が集まり、海水浴客に事故がないよう、海水浴客が楽しく過ごせるよう祈りました。

まちの話題

Minami Shimabara City My Town Topics



待ちに待った海びらき

～7月17日 加津佐町前浜海水浴場～



「海祭」に喝采！～マリンフェスタ～ ～7月18日・19日 口之津港緑地公園～



ペーロンは楽しいっ！だって、みんなでがんばれるから！

今年は、これまでののぼりを新調。イメージカラーのブルーに一新しました。

18日は、子どもたちが大空に風船を飛ばし、ステーションイベントがスタート。19日の「島原半島ペーロン大会」島原半島ペーロン大会では、僅差を制して口之津海上技術学校が3連覇。王者の貫録を見せました。

夜はフリーステージが行われたほか、2600発の花火が打ち上げられ、多くの観客を魅了しました。



まちづくり懇談会

～8月6日 西有家総合学習センター～

市内の7つのまちづくりグループの代表14人と市長が、南島原市のこれからについて話し合いました。会議では、今後のイベントのあり方など幅広い意見の提言がありました。



市民スポーツ大会開幕

～7月19日 市内各地～

南島原市のスポーツの祭典が、今年も開幕しました。各会場では、各チームの誇りをかけて、熱い戦いが繰り広げられました。熱戦は、9月6日まで続きます。



赤潮被害対策本部設置

～8月3日 有家庁舎～

口之津町沖で赤潮により養殖ハマチが大量にへい死。甚大な被害となりました。これを受け、市では、市長を本部長に対策本部を設置。今後は、迅速的確な対策をしていく予定です。